



ユーザ テンプレート

この章では、Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) のユーザ テンプレートを
使用して共通のユーザ属性を定義して、新しいユーザのグループを追加する方法について説明
します。

- [BAT ユーザ テンプレートの検索 \(1 ページ\)](#)
- [新しい BAT ユーザ テンプレートの作成 \(2 ページ\)](#)
- [BAT ユーザ テンプレートの変更 \(3 ページ\)](#)
- [BAT ユーザ テンプレートのコピー \(3 ページ\)](#)
- [BAT ユーザ テンプレートの削除 \(4 ページ\)](#)
- [BAT ユーザ テンプレートのフィールドの説明 \(4 ページ\)](#)

BAT ユーザ テンプレートの検索

Unified Communications Manager を使用すると、特定の基準に基づいて特定のユーザーテンプレートを検索できます。これは、複数のユーザーテンプレートが存在する場合に便利です。



- (注) ブラウザセッションで作業中に、検索/一覧表示の検索設定がクライアントマシン上の Cookie に保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻った場合や、ブラウザを閉じてから新しいブラウザウィンドウを開き直した場合は、手動で検索を変更するまで、Unified Communications Manager の検索設定が保持されます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザテンプレート (User Template)] の順に選択します。

[ユーザテンプレートの検索/一覧表示 (Find and List User Templates)] ウィンドウが表示され
ます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用してテンプレートを検索します。

ステップ2 最初の [ユーザテンプレートの検索 (Find User Template where)] ドロップダウン リストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ユーザテンプレート名
- [部署名 (Department)]

2番目の [ユーザテンプレートの検索 (Find User Template where)] ドロップダウン リストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- 次の文字列と完全に一致する
- 次の文字列で終わる
- 空である
- ~が空ではない

ステップ3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find)] をクリックします。

ヒント データベースに登録されているすべてのユーザテンプレートを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

検出されたテンプレートのリストが次の分類で表示されます。

- ユーザテンプレート (User Template)
- [部署名 (Department)]

ステップ4 レコードのリストから、検索条件と一致するユーザテンプレートをクリックします。ウィンドウに、選択したユーザテンプレートが表示されます。

新しいBATユーザテンプレートの作成

新しいユーザテンプレートを作成できます。

手順

ステップ1 [一括管理 (Bulk Administration)]>[ユーザ (Users)]>[ユーザテンプレート (User Template)]の順に選択します。

[ユーザテンプレートの検索/一覧表示 (Find and List User Templates)] ウィンドウが表示されます。

ステップ2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。

[ユーザテンプレートの設定 (User Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 このグループのユーザの共通のユーザ設定を入力します。

フィールドの説明については、「[BATユーザテンプレートのフィールドの説明 \(4ページ\)](#)」を参照してください。

- ステップ4** [保存 (Save)]をクリックします。
ユーザテンプレートをデータベースに追加すると、ステータスにはトランザクションが完了したことが示されます。

BAT ユーザテンプレートの変更

既存のユーザテンプレートを表示または変更できます。

手順

-
- ステップ1** 変更するユーザテンプレートを検索します。
- ステップ2** [ユーザテンプレートの設定 (User Template Configuration)] ウィンドウで、テンプレート内の設定を追加、変更、または削除します。
フィールドの説明については、「[表1:BAT 内のユーザテンプレートのフィールドの説明 \(5ページ\)](#)」を参照してください。
- ステップ3** 設定を変更してテンプレートを更新した後、[保存 (Save)]をクリックします。

関連トピック

[BAT ユーザテンプレートの検索 \(1ページ\)](#)

BAT ユーザテンプレートのコピー

いくつかのフィールドだけを変更したい場合には、ユーザテンプレートのプロパティを新しいユーザテンプレートにコピーできます。

手順

-
- ステップ1** コピーするユーザテンプレートを検索します。
- ステップ2** [ユーザテンプレートの設定 (User Template Configuration)] ウィンドウで、これがコピー対象のテンプレートであることを確認して、[コピー (Copy)]をクリックします。
テンプレートが複製され、コピーが作成されます。コピーでは、元のテンプレートで指定されていたすべての値が複製されます。
- ステップ3** 必要に応じて、新しいテンプレートのフィールドを更新します。
フィールドの説明については、「[表1:BAT 内のユーザテンプレートのフィールドの説明 \(5ページ\)](#)」を参照してください。
- ステップ4** [保存 (Save)]をクリックします。
-

関連トピック

[BAT ユーザテンプレートの検索](#) (1 ページ)

BAT ユーザテンプレートの削除

不要になった BAT ユーザテンプレートを削除できます。次の手順を使用して、ユーザテンプレートを削除します。



注意 削除アクションは不可逆です。削除したテンプレートを復元することはできません。

手順

ステップ 1 削除するユーザテンプレートを見つけます。

ステップ 2 [ユーザテンプレートの設定 (User Template Configuration)] ウィンドウで、それが削除するテンプレートであることを確認して、[削除 (Delete)] をクリックします。

(注) また、[ユーザテンプレートの検索/一覧表示 (Find and List User Templates)] ウィンドウからユーザテンプレートを削除することもできます。削除するテンプレートの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

削除操作の確認を求めるメッセージが表示されます。

ステップ 3 テンプレートを削除するには、[OK] をクリックします。テンプレート名が [UDPテンプレートの検索/一覧表示 (Find and List UDP Templates)] ウィンドウのユーザテンプレートのリストから消去されます。

注意 特定のユーザテンプレートを使用するジョブを送信した場合、ジョブの実行前にそのユーザテンプレートを削除すると、そのジョブも削除されます。別のユーザテンプレートを作成してジョブを再送信する必要があります。

関連トピック

[BAT ユーザテンプレートの検索](#) (1 ページ)

BAT ユーザテンプレートのフィールドの説明

BAT ユーザインターフェイスで、アスタリスクが付いているフィールド名は必須入力項目です。アスタリスクが付いていないフィールドについては、任意指定です。

次の表では、BAT ユーザテンプレートを追加した後に表示される可能性のある、すべてのフィールドについて説明しています。

表 1: BAT 内のユーザテンプレートのフィールドの説明

フィールド	説明
ユーザテンプレート名	ユーザテンプレートの一意の名前（30文字以内の英数字）を入力します。
[ユーザ ID をデフォルトパスワードにする（Default Password to User ID）]	ユーザ ID をすべてのユーザに対してデフォルトパスワードにする場合に、このチェックボックスをオンにします。
[電話番号をデフォルト暗証番号にする（Default PIN to Telephone Number）]	電話番号をデフォルト暗証番号にするには、このチェックボックスをオンにします。
[プライマリエクステンションをデフォルト電話番号にする（Default Telephone Number to Primary Extension）]	電話番号をプライマリエクステンションにするには、このチェックボックスをオンにします。
[ユーザ ID をデフォルトメール ID にする（Default Mail ID to User ID）]	メール ID をユーザ ID のデフォルトにするには、このチェックボックスをオンにします。
[マネージャユーザ ID（Manager User ID）]	この電話機のユーザのマネージャユーザ ID を最大 128 文字で入力します。
[部署名（Department）]	この電話ユーザに対して、部署番号を 64 文字以内で入力します。
[ユーザロケール（User Locale）]	このユーザと関連付けたい言語と国のセットを、ドロップダウンリストから選択します。この選択により、このユーザに対して存在する文化依存属性と、Unified CM のユーザウィンドウと電話機でユーザに表示される言語が決まります。
[関連付けられた PC（Associated PC）]	このフィールドは Cisco ソフトフォンおよび Cisco Unified Communications Manager アテンダントコンソールのユーザには必須で、ユーザが追加された後に表示されます。
[デフォルトプロファイル（Default Profile）]	デフォルトプロファイルドロップダウンリストからこのユーザのデフォルトプロファイルを選択します。
[BLF プレゼンスグループ（BLF Presence Group）]	ドロップダウンリストから、電話番号、つまり、プレゼンスエンティティのステータスを監視する BLF プレゼンスグループを選択します。

フィールド	説明
[SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)]	<p>Unified CM Administration で設定したすべてのコーリング サーチ スペースが [SUBSCRIBE コーリング サーチ スペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウン リスト ボックスに表示されます。</p> <p>[コーリング サーチ スペースの登録 (SUBSCRIBE Calling Search Space)] では、Cisco Unified Communications Manager がエンド ユーザから発行されたプレゼンス サブスクリプション要求をルーティングする方法が決定されます。この目的で明示的にコーリング サーチ スペースを設定するには、すべてのコーリング サーチ スペースを設定する場合と同じようにコーリング サーチ スペースを設定します ([コール ルーティング (Call Routing)]>[クラス制御 (Class Control)]>[コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)])。</p>
[CTIからのデバイスの制御を許可 (Allow Control of Device from CTI)]	<p>CTI に対してこのデバイスの制御と監視を許可する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>関連付けられた電話番号が共有回線を指定する場合、少なくとも 1 つの関連付けられたデバイスが CTI にサポートされるデバイス タイプとプロトコルの組み合わせを指定する限り、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) WiFi モードで動作している Android、iPhone、iPad などの Cisco デュアルモード デバイス (Jabber) は、CTI を介してモニターされ、制御されません。ただし、GSM モードで動作しているデバイスはモニターまたは制御できません。</p>
[EMCC の有効化 (EMCC Enabled)]	<p>EMCC サービスを有効にする場合に、このチェックボックスをオンにします。</p>
[ユーザ ランク (User Rank)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、このユーザに割り当てるランクを選択します。最高のランクは 1 で、最低のランクは 10 です。</p>
[アクセス コントロール グループ (Access Control Group)]	<p>ドロップダウン リストから、ユーザが所属するアクセス制御グループを選択します。選択できるのは、ユーザのランク以下のアクセス コントロール グループのみです。</p>

フィールド	説明
[ダイジェストクレデンシャル (Digest Credentials)]	<p>SIPを実行している電話のダイジェスト認証を設定する場合、電話が Cisco Unified Communications Manager に SIP リクエストを送信するたびに、Cisco Unified Communications Manager は電話のアイデンティティを確認します。このフィールドに入力したダイジェストクレデンシャルは、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでダイジェストユーザを選択した場合に、電話に関連付けられます。</p> <p>最大 128 文字の英数字からなる文字列を入力します。</p> <p>ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。</p>
[ダイジェストクレデンシャルの確認 (Confirm Digest Credentials)]	<p>ダイジェストクレデンシャルが正しく入力されたことを確認するために、このフィールドにクレデンシャルを再入力します。</p>
[ホームクラスタ (Home Cluster)]	<p>ユーザテンプレートのユーザのホームをこのクラスタにするには、このチェックボックスをオンにします。ユーザは、企業内の 1 つのクラスタのみをホームとして設定する必要があります。</p> <p>(注) ユーザが複数のホームクラスタに割り当てられている場合、IM and Presence が適切に機能しません。</p>
[Unified CM IM and Presence のユーザを有効にする (Enable User for Unified CM IM and Presence)]	<p>このユーザテンプレートのユーザを IM and Presence に対して有効化するには、このチェックボックスをオンにします。関連付けられたサービスプロファイルで IM and Presence を設定します。</p> <p>(注) Cisco Unified Communications Manager IM and Presence ノードを、Cisco Unified Communications Manager クラスタと共にインストールする必要があります。</p> <p>[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [UC サービス (UC Services)] メニューを使用して、IM and Presence サービスを設定します。</p>

フィールド	説明
<p>[プレゼンスに会議情報を含める (Include meeting information in Presence)]</p>	<p>ユーザが IM and Presence サービスで会議とカレンダーの情報を含まれるようにするには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>ユーザはホーム クラスタにいて、IM and Presence を有効化している必要があります。また、Exchange プレゼンス ゲートウェイが Cisco Unified Communications Manager IM and Presence サービス サーバ上で設定されていることを確認します。</p>
<p>[割り当て済みプレゼンスサーバ (Assigned Presence Server)]</p>	<p>システムが非平衡の場合、ユーザを、クラスタにインストールされた IM and Presence Service サーバに割り当てます。一括管理ツールを使用して指定したサーバは、プレゼンス冗長グループに含める必要があります。</p> <p>IM and Presence サーバのユーザ割り当てモードが平衡化またはアクティブ/スタンバイに設定されたクラスタでは、一括管理ツールを使用して設定されたユーザ割り当てによって自動ユーザ割り当てがオーバーライドされます。</p>
<p>[UC サービス プロファイル (UC Service Profile)]</p>	<p>ドロップダウン リストから UC サービス プロファイルを選択します。</p> <p>(注) [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [サービス プロファイル (Service Profile)] メニューを使用して、ユーザのサービス プロファイルをセットアップします。</p>
<p>[Mobility の有効化 (Enable Mobility)]</p>	<p>Cisco Unified Mobility を有効化する場合に、このチェックボックスをオンにします。これによりユーザは、単一の電話番号を使用してコールを管理し、デスク フォンと携帯電話のコールをピックアップすることができます。</p>
<p>[Mobile Voice Access の有効化 (Enable Mobile Voice Access)]</p>	<p>ユーザがモバイル音声アクセス統合型音声応答 (IVR) システムにアクセスして Cisco Unified Mobility コールを開始し、Cisco Unified Mobility 機能をアクティブまたは非アクティブにできるようにするには、このチェックボックスをオンにします。</p>
<p>[デスク ピックアップの最大待機時間 (Maximum Wait Time for Desk Pickup)]</p>	<p>このユーザの最大待機時間を、5桁以下の数字で入力します。</p> <p>この値は、携帯電話からデスク フォンに転送されたコールをユーザがピックアップするまでに許可する最大時間を示します。</p>

フィールド	説明
最大ログイン時間(HHH:MM)	Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) と Extension Mobility Cross Cluster のユーザの最大ログイン時間を、HHH:MM 形式で入力して設定します。 値の範囲は、00:01 ~ 168:00 時間です。 例 : 168:00、25:16、025:16、:30 または 00:30
[リモート接続先の制限 (Remote Destination Limit)]	ユーザのデスク フォンからコールの転送が許可される電話の最大数を、2 桁以下の数字で入力します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。